

CASBEE-建築(新築)2014年版
 (仮称)中村屋橋美台店新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
C 建築物の環境品質						2.7
Q1 室内環境			0.40		-	2.7
1 音環境		3.0	0.15		-	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40		-	
1.2 遮音		3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00		-	
2 界壁遮音性能			-		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-	
1.3 吸音		3.0	0.20		-	
2 温熱環境		2.5	0.35		-	2.5
2.1 室温制御		2.8	0.50		-	
1 室温		3.0	0.50		-	
2 外皮性能		2.0	0.17		-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33		-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-	
2.3 空調方式		3.0	0.30		-	
3 光・視環境		3.0	0.25		-	3.0
3.1 屋光利用		3.0	0.50		-	
1 屋光率			-		-	
2 方位別開口			-		-	
3 屋光利用設備		3.0	1.00		-	
3.2 グレア対策			-		-	
1 屋光制御			-		-	
3.3 照度			-		-	
3.4 照明制御		3.0	0.50		-	
4 空気質環境		2.8	0.25		-	2.8
4.1 発生源対策		3.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00		-	
2 気体汚染物質			-		-	
4.2 換気		3.0	0.30		-	
1 換気量		3.0	0.50		-	
2 自然換気性能			-		-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50		-	
4.3 運用管理		2.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50		-	
Q2 サービス性能			0.30		-	3.2
1 機能性		3.3	0.40		-	3.3
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性			-		-	
2 高度情報通信設備対応			-		-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		3.6	0.30		-	
1 広さ感・景観	天井高 4m	5.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33		-	
3 内装計画		3.0	0.33		-	
1.3 維持管理		3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計	維持管理に配慮した設計として、評価する取り組みが7項目あり	4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
3 維持管理用設備			-		-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30		-	2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50		-	
1 耐震性		3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	

2.4 信頼性			2.6	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		2.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.6	0.30			3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30			
1	階高のゆとり	天井高 4m	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 = (48.45 + 3.00 + 47.85 + 32.50 + 96.30 + 35.50) / 3303.02	5.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30			
3.3 設備の更新性			3.0	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30			2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							2.9
LR1 エネルギー			-	0.40			3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		BEIm=0.92	3.0	0.20			3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.93 住宅(専有部)	3.0	0.50			3.0
集合住宅以外の評価(3a,3b)			3.0	1.00			
集合住宅の評価(3c)			-	-			
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00			
4.1 モニタリング			3.0	0.50			
4.2 運用管理体制			3.0	0.50			
集合住宅の評価			-	-			
4.1 モニタリング			-	-			
4.2 運用管理体制			-	-			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			2.7
1 水資源保護			3.0	0.20			3.0
1.1 節水			3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60			2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.22			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20			3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70			
1 消火剤		不活性化ガスの消火剤を利用している(スポンクラ)	4.0	0.33			
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33			
3 冷媒			3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率 4.1	4.1	0.33			4.1
2 地域環境への配慮			2.6	0.33			2.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25			
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25			
3 交通負荷抑制		評価ポイント4	5.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1 騒音			3.0	0.33			
2 振動			3.0	0.33			
3 悪臭			3.0	0.33			
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40			
1 風害の抑制			3.0	0.70			
2 砂塵の抑制			-	-			
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70			
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			